



おとがわ



ふお～ゆ～

校長室だより

第47号

R4.2.3

文責 中西 勉



「ありがとう」と「あたりまえ」

今週の月曜集会で、大相撲の初場所で3度目の優勝を飾り、大関に昇進した御嶽海関の話をしました。御嶽海関は、大関昇進伝達式の口上で、「感謝の気持ちを大切にし、自分の持ち味を生かし、相撲道にまい進してまいります」と述べました。私は、この御嶽海関の姿を通して、「感謝の気持ち」＝「ありがとう」という思いを持って日々の生活を送ることが大切であると、子供たちに伝えたかったのです。



「ありがとう」という言葉の元は「有難い」であり、「ありがとう」と言うときの状況は、「そう有ることが難しい」、とても貴重な機会ととらえるべきだと話しました。続いて、子供たちに『有難い』の反対の言葉（対義語）は何だと思えますか？ヒントは、ひらがなで5文字です」と問いかけ、しばらく一人一人に考えてもらいました。そして、10秒ほど後に、『有難い』の反対の言葉は、『あたりまえ』です」と伝え、自分の身の回りの「あたりまえ」を見つめ直してみるよう、次のような話をしました。

土日が終わって、月曜日になったら学校の授業があるのは「あたりまえ」と思うかもしれませんが、先週の月曜日はどうだったでしょうか。休校になり、授業はありませんでしたね。今日は、みんなが学校に来て授業ができますが、こう考えてみると、これはとても「有難い」ことなのですね。また、お昼になったら、給食があるのは「あたりまえ」と思っているかもしれません。しかし、野菜や肉を作ってくれる人がいて、次に、それを調理してくれる人がいて、さらに、それを学校まで運んでくれる人がいて・・・という風に考えると、私たちが給食を食べることができるまでには、いろいろな人の手を経ていることが分かりますね。だからこそ、その人たちに「ありがとう」という気持ちを持って食べることが大切ですね。

月曜集会では、「授業」と「給食」の例しか話しませんでした。他にも「蛇口をひねると水が出るのは『あたりまえ』？」「毎日、防犯パトロール隊の方やおうちの方が、登下校を見守ってくれるのは『あたりまえ』？」など、自分の身近なことについてとらえ直してみると、そこには「感謝の気持ち」を忘れてはならないことがたくさんあることに気付くと思います。このことは、学校生活ではもちろん、学校を卒業して社会に出てからも、ずっと大切にしてほしい心構えです。ご家庭でも、「ありがとう」と「あたりまえ」について、お子さんと話をしてくださると「有難い」です。よろしくお願いします。



「無言清掃」にチャレンジ！

2月1日（火）から10日（木）まで、「無言清掃週間」と題して、全校児童が無言で掃除をすることにチャレンジしています。この取組は、美化委員会の子供たちが、日頃の掃除の様子を振り返り、掃除に集中して効率よく活動できるようにと考えて企画しました。この取組の最大の良さは、子供からの発案であることです。自分たちで自分たちの活動を良くしていこうとする姿勢が大変頼もしいです。



▲無言で掃除をする子供（2年）